



くらし、かける、あしたへ。

復建技術コンサルタント

会 社 案 内

株式会社 復建技術コンサルタント

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-7-25
TEL.022-262-1234 FAX.022-265-9309

公式HP



<https://www.fgc.jp/>

公式SNS



https://x.com/Fukken_official

ご挨拶

「地域のホームドクター」として

「安全・安心な社会づくり」に

貢献します

株式会社 復建技術コンサルタント
代表取締役 社長

田澤光治



当社は、昭和21年(1946年)6月、太平洋戦争後の荒廃した国土の復興を目的として、国策により設立された社団法人復興建設技術協会の仙台出張所として発足しました。その後、昭和35年(1960年)に株式会社へ移行し、令和8年(2026年)には創立 80周年を迎えます。この間、東北地方を中心にインフラ整備や災害対応などに携わり、東日本大震災の復興事業でも様々な役割を担ってきました。この経験で得た知見やノウハウを生かし、事業の広域展開を進めています。

長きにわたり、地域社会の発展と安全・安心な暮らしの実現に向けて歩み続けることができましたのは、ひとえに皆様のご支援とご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当社は「社員一人ひとりが技術と人格を磨き、企業活動を通じて社会に貢献する」を企業理念として掲げています。プロフェッショナルとしての誇りを持ち、主体性と協調性を大切にしながら日々挑戦を続けています。自ら考え行動する姿勢

と仲間とともに目標を達成することが、一人ひとりの成長や働き甲斐につながり、当社の成長の原動力となり、社会に貢献するための基盤になると考えています。

近年、頻発化・激甚化する災害の発生やインフラの老朽化、少子高齢化の進展、デジタル技術の進化など、地域を取り巻く環境が急速に変化しています。このような変化に柔軟に対応できる人材を育成するために、人材こそが最大の資産という考えのもと、これまで以上に技術習得や資格取得支援、働き方改革、DX推進に取り組んでまいります。

今後も、誠実で信頼される身近な存在である「地域のホームドクター」として、安全・安心な社会、そして持続可能な社会の実現を目指してまいります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

社是

技術

人格

社会貢献

社員一人ひとりが技術と人格を磨き、
企業活動を通じて社会に貢献します。

当社の想い

くらし、かける、あしたへ。

復建技術コンサルタントは、人々の豊かな暮らしのために、
さまざまな事業を通じて、未来(明日)へつながる架け橋になります。

暮らし

×

架ける
描ける
駆ける

×

明日へ

沿革

1946年 社団法人復興建設技術協会設立
同仙台出張所開設
1960年 (株)東北復建事務所に組織変更
1967年 労働組合結成
1971年 (株)復建技術コンサルタントに社名変更
1985年 関連会社(株)仙台技術サービスおよび
ダイワ測量設計(株)を設立
1994年 本社新社屋完成

1998年 東京支店開設
2008年 名古屋営業所開設
2011年 東日本大震災
関連会社の2社が合併(株)ダイワ技術サービスとなる
2014年 関西事務所開設
2015年 本社増築社屋完成
2025年 創立79周年を迎える

認定・選定

当社は「子育てサポート」、「優良な健康経営」、「地域経済の中心的担い手」、「DX推進の認定事業者」として、厚生労働省および経済産業省から次の認定を受けております。



事業内容

構造技術 P5	環境 P11
道路 P7	調査・防災・測量 P13
都市計画・建築・事業推進 P9	上下水道・河川 P15

 環境

 構造技術

 調査・防災・測量

 都市計画・建築・事業推進

 上下水道・河川

 道路



構造技術

新設橋梁の設計や既設橋梁の点検・補修設計、鉄道構造物の設計等を行っています。
また、頻発する地震への対策として、耐震補強設計も行っています。

橋梁計画・設計

人と人をつなぐ橋

人々の生活や物流を支えるために、安全・安心に供用できる橋を設計しています。
また、BIM/CIMを活用し効率的な橋梁計画の検討も行っています。



橋梁の新設設計



BIM/CIMを活用した橋梁計画

維持管理

老朽化した橋の長寿命化

老朽化したインフラのマネジメントは国の喫緊の課題です。
地域の安全を確保するため、点検・補修設計をします。



高所におけるロープ点検



プレキャスト床版交換設計

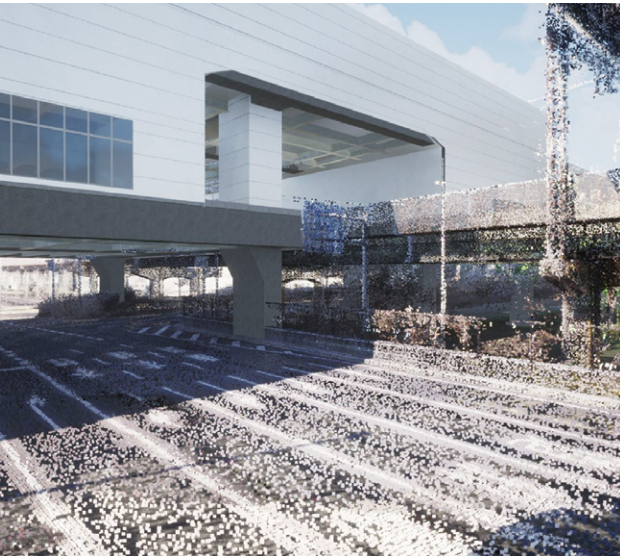
鉄道

地域を活性化させる鉄道

通勤や通学、レジャーなど鉄道は人々の生活において重要な役割を担っています。
利用者が安全・安心に利用できる鉄道橋を設計します。



鉄道土木設計



鉄道構造物の計画



道路

高規格幹線道路や主要幹線道路の計画・設計、新設トンネルの設計や既設トンネルの補修補強設計等を行っています。また、景観性向上や防災力強化策として、電線共同溝設計も行っています。

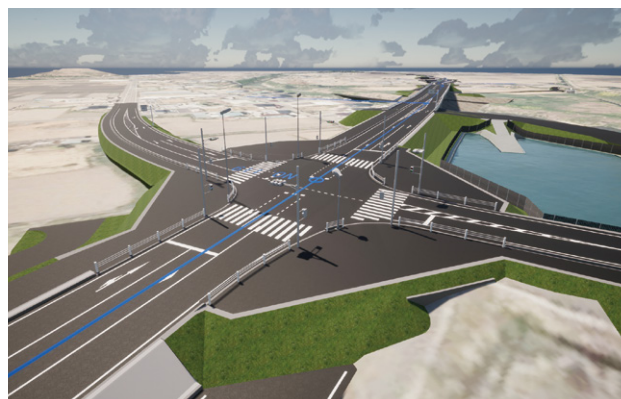
道路計画・設計

技術でつなぐ

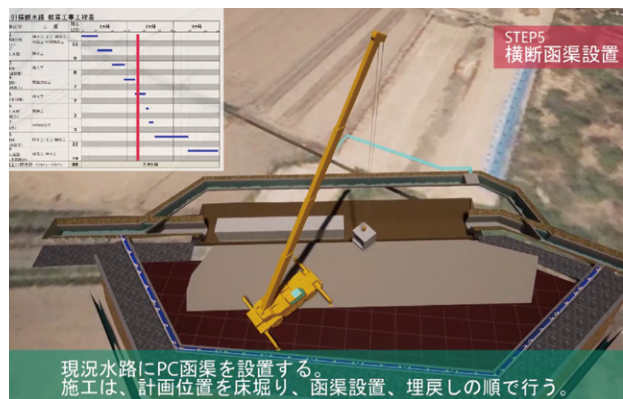
これまで培った豊富な経験やBIM/CIMなどの新技術を活用して、人やモノを未来へつなぐ道路の計画・設計を行います。



インターチェンジの整備



BIM/CIMモデルを活用した交差点計画



BIM/CIMモデルを活用した施工計画

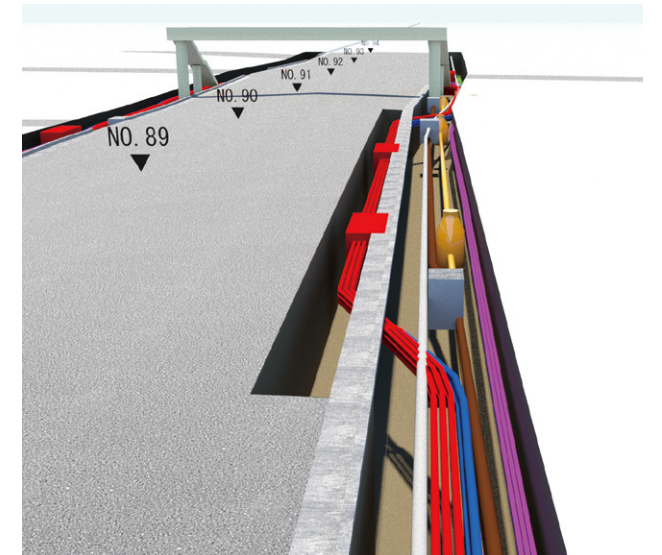
電線共同溝設計

インフラをつなぐ

安全・安心な社会づくり、快適な歩行空間の確保や景観性の向上など都市機能の高度化を図るための電線共同溝設計を行います。



主要幹線道路の電線共同溝整備



電線共同溝整備計画

トンネル新設設計・補修補強設計

道をつなぐ、未来を切り拓く

自然環境に配慮し地域の将来像を見据えたトンネルの計画・設計を行います。また、人々の生活基盤を永く活用するため既設トンネルの点検・補修補強設計を行います。



トンネル設計：宮城県仙台市（北山トンネル）



トンネル点検



都市計画・建築・事業推進

日々更新され続けている社会のニーズに対し、様々な技術を取り入れた多角的な視点から、都市や地域に新たな価値を生み出していきます。

都市計画・交通計画・まちづくり

まちの「仕掛け」づくりに貢献する

都市計画をはじめとした上位計画の構想や、まちの新たな中心施設を整備するため、新技術を活用しながら詳細な調査・検討を行います。

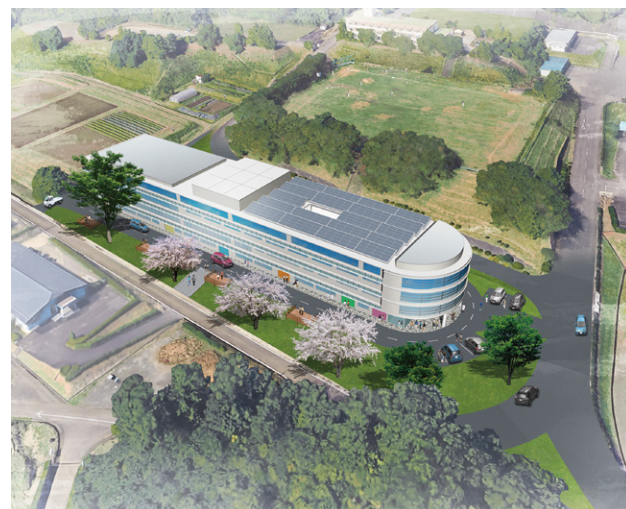


道の駅猪苗代 完成イメージパース：福島県猪苗代町

建築(事業構想・新築設計・改修設計)

新しい時代の暮らしに寄り添う

それぞれのまち、暮らし、働き方に合う建築施設の構想づくりから、新築・改修設計・監理まで一連で行います。



大学・研究施設新築構想図：宮城県

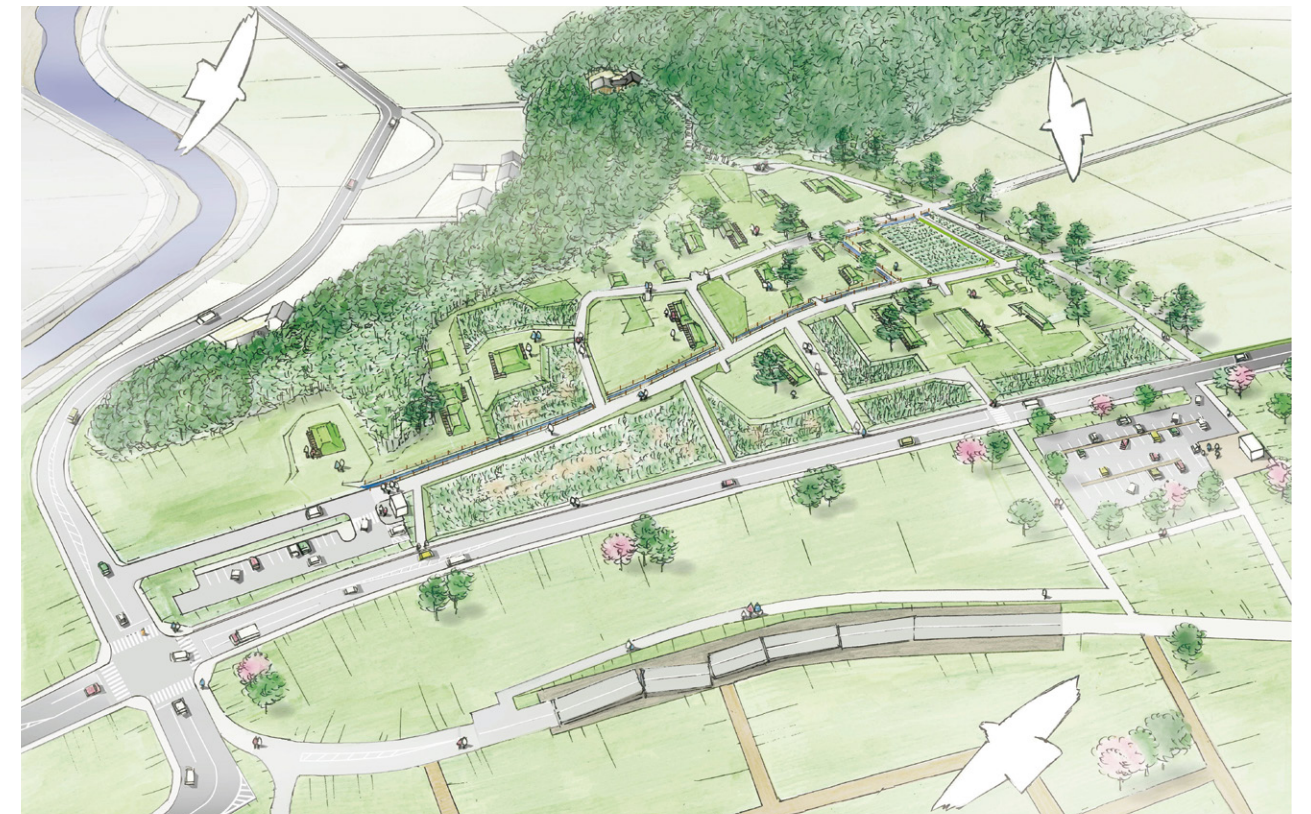


バスターミナル完成予想図：埼玉県戸田市

面的整備(造成設計)・各種許認可

小さなものから風土を紡ぐ

地域の風土や事業計画地の特性にもとづき、造成計画から道路設計、給排水、照明やサイン計画まで、防災、環境にも配慮した提案を行います。



福島復興祈念公園 完成イメージ鳥瞰図：福島県浪江町・双葉町

官民連携PPP(事業促進・CM・施工管理)

鍛え上げた マネジメント力で

建設事業に一連で携わることを目指し、CM専門部署を設置しています。
発注者(国土交通省、NEXCO、県土木事務所等)の下で、設計の検討・工程管理・品質管理・コスト管理など、各種建設事業のマネジメント業務を行います。



東北自動車道橋梁リニューアル工事：福島県郡山市
(東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)提供)



環境

より良いまちづくりと自然環境の保全のため、さらには持続可能な社会に向けて、自然環境調査、生活環境調査、予測・評価、委員会・審査会対応、各種資料作成等の業務を行います。

環境調査

自然との共生、持続可能な社会のために

動物や植物、環境DNAなどの自然環境調査ならびに大気質や騒音振動、水質などの生活環境調査を行います。



猛禽類調査



個体確認：クマタカ



魚類調査



環境DNA調査



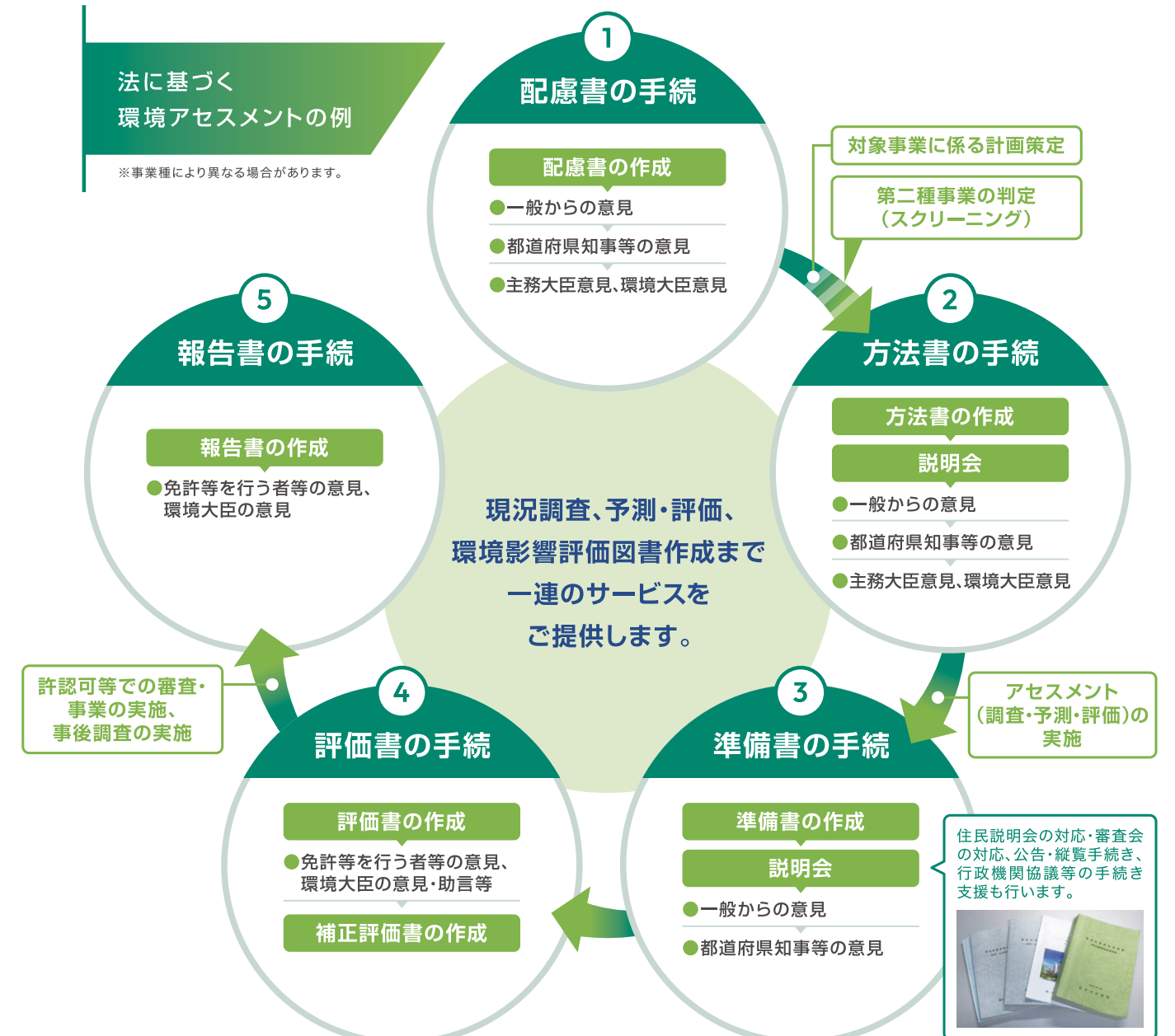
大気質調査



騒音・振動調査

環境アセスメント

豊富な経験と高度な技術力をもとに、環境影響評価の調査・予測・評価はもちろん、行政との協議・調整をはじめ、意見書・説明会等の住民対応、環境影響評価審査会などの専門家対応や手続きに関する業務をサポートします。



環境調査、環境アセスメントのほか、廃棄物、土壌汚染、地球温暖化対策に関する業務にも幅広く対応します。



調査・防災・測量

社会インフラ整備に必要な地質リスクを評価するための調査・解析を行うほか、既存土木構造物の点検・評価、激甚化・頻発化する災害への迅速な対応など、測量～調査～対策工設計までワンストップで行い、国土強靱化、地域社会の安全・安心なまちづくりへ貢献します。

土質・地質調査、解析

不可視から可視へ、安全の基礎を築く

社会インフラ構築に必要な地盤や地下水についての各種調査・解析を行うことに加え、三次元地盤モデルの作成や解析など高度な技術も取り入れ、円滑な事業の推進を支援します。



宅地防災

宅地耐震化の推進を支援

大規模地震による大規模盛土造成地における地盤災害について、これまで得られた経験と実績をもとに調査・解析・対策までワンストップで対応します。



防災対策設計

斜面を診て最適な対策・予防工法を提案

豪雨や地震等による斜面崩壊・地すべり災害に対して、早期に復旧計画を立案します。また、激甚化・頻発化する災害に備えるために、効果的な予防保全対策計画を立案します。



測量

精度と信頼で社会インフラを支える

従来の測量技術に加え、レーザードローン測量や点群処理を用いた高精度な地形情報を提供します。





上下水道・河川

これまで培った経験や3Dレーザー測量を活用して、安全安心を未来へつなぐ、社会基盤となる上下水道の計画・調査・設計を行います。

上水道分野

人々の生活・社会を地下から支える

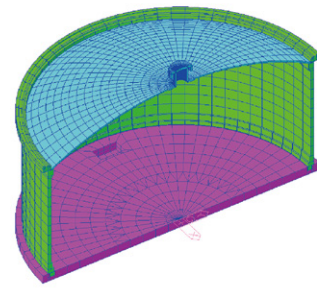
基本計画、アセットマネジメント計画(長寿命化計画)、施設の劣化・耐震診断、更新・新設設計、PPP/PFI・コンセッションなど、人々の生活や社会に不可欠な上水の安全・安心・安定供給のために、上水道に関する計画・調査・設計をしています。



水管橋新設設計:宮城県



3Dモデルによる施工計画

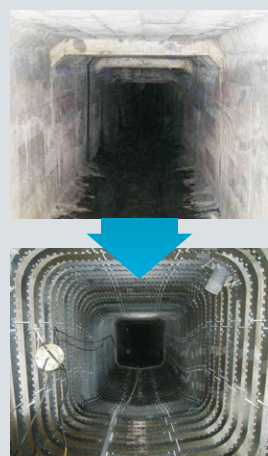


水道施設の耐震モデル

下水道分野

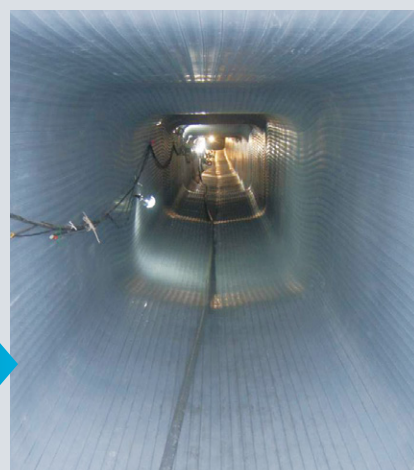
事業計画、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)、施設の劣化・耐震診断、更新設計、浸水想定解析、PPP/PFI・コンセッションなど、人々の生活や環境保全、内水氾濫予防のために不可欠な下水道に関する計画・調査・設計をしています。

管路更生前



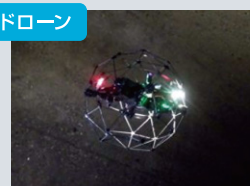
銅製リング組立

管路更生後(長寿命化後)



管路内調査状況

管内ドローン



調査



機械・電気分野

取水場ポンプ設備、受電設備、計装設備(水位計、流量計等)など、上下水道の適切な維持管理のため、上下水道施設に附帯する機械設備および電気設備の設計をしています。

くらし、かける、あしたへ。

頻発する豪雨や洪水などの水災害から、人命・コミュニティおよび社会生活を守るため、河川・農業施設の計画・調査・設計を行います。

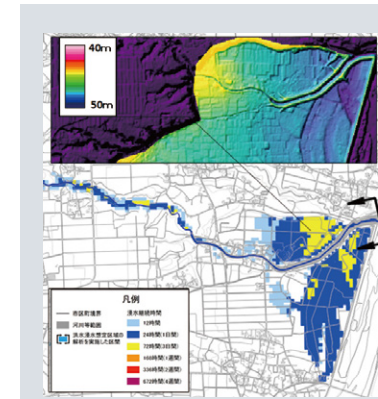
河川分野

「流域治水」で暮らしを支える社会インフラを整備する

頻発する豪雨災害や洪水などの「水」による被害から地域の生活を守るため、流域全体での治水対策(流域治水)の考え方を取り入れた社会インフラの整備に貢献します。河川及び河道計画策定、施設の維持管理・補修に必要な点検・診断、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)の策定、豪雨や地震により被災した施設の調査・点検・設計を行うほか、流域治水の観点から将来的な被害を軽減するために必要なハザードマップ(浸水想定区域図)の作成を支援します。



地震により被災した河川施設:宮城県



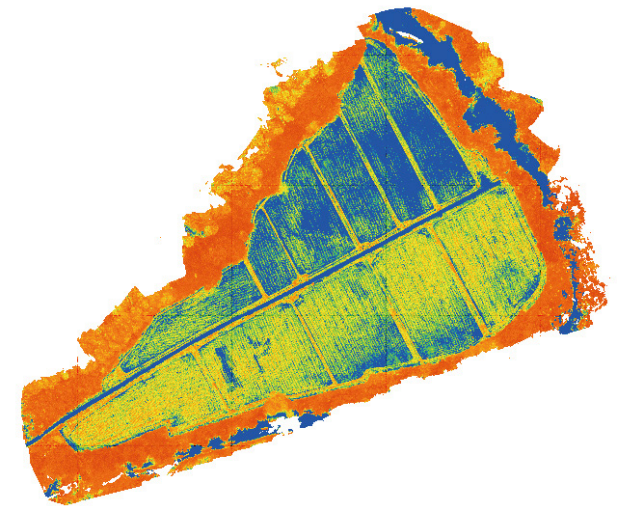
浸水想定解析例と浸水想定範囲の可視化例

農業土木分野

近年、農業用ため池では、豪雨や地震などの災害により被災する事案が発生しています。ため池の堤体および施設機能の点検・診断を行い、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)を策定するとともに、地域の安全確保に必要な対策工について検討・設計を行います。そのほか、UAVによるマルチスペクトル撮影データの取得からNDVI(正規化植生指数)解析を行うなど、農産物の品質向上と安定生産に必要なソリューションを提案します。



ため池施設点検:宮城県



UAVによる水田成育調査(幼穂形成期のマルチスペクトル画像)

災害対応

当社は、豪雨・地震等による災害対応に全力で取り組み、地域の安全・安心を守ります。
各種災害において、現地調査・測量、被災メカニズムの解明、復旧設計、災害査定・実施設計、発注者支援等に迅速に対応します。

令和元年東日本台風 [2019年10月12日～13日]

豪雨により被災した河川および道路：宮城県丸森町



北海道胆振東部地震 [2018年9月6日発生 Mj6.7 最大震度7(厚真町)]

宅地造成盛土の変状により被災した建物および道路：北海道札幌市



熊本地震 [2016年4月16日発生 Mj7.3 最大震度7(益城町・西原村)]

宅地造成盛土の変状により被災したブロック積擁壁：熊本県益城町



事業所マップ

東北に本社を置き、
全国に広く事業展開しています。



くらし、かける、あしたへ。